

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●スプリンターズSはビューロマジックが優勝

9月27日(日)に行われたスプリンターズS(GI)ではビューロマジック(牝5歳/栗東・安田翔伍厩舎)が優勝、GI初制覇を果たしました。ビューロマジックは本年のサマースプリントシリーズでも優勝しており、同シリーズの覇者が同年のスプリンターズSを制するのは2019年タワーオブロンドン以来、史上2頭目のこととなります。

●斎藤新騎手がJRA通算300勝を達成

9月27日(日)の4回阪神9日・第2レースではセーニョレガールが1着となり、同馬に騎乗した斎藤新騎手(栗東・フリー)は、現役46人目となるJRA通算300勝(4544戦目)を達成しました。

●柴田大知騎手がJRA通算1万3000回騎乗を達成

9月27日(日)の4回中山9日・第2レースでコウサイリクリに騎乗した柴田大知騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上33人目・現役19人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。

●安田翔伍調教師がJRA通算200勝を達成

9月27日(日)に行われたスプリンターズS(GI)でビューロマジックが勝利したことにより、同馬を管理する安田翔伍調教師(栗東)は、現役103人目となるJRA通算200勝(延べ1971頭目)を達成しました。

●蓑島靖典騎手が引退

蓑島靖典騎手(美浦・フリー)からの申請により、9月30日(水)付で騎手免許を取り消しました。JRA通算成績は1704戦76勝でした。引退後は美浦・柄崎将寿厩舎で調教助手となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ミッキーファイトが日本テレビ盃(船橋)で7度目の重賞制覇

日本テレビ盃(JpnII、9月30日、船橋、1,800万円)は、3番手から残り200万円で抜け出したミッキーファイト(戸崎圭太騎手、牝5歳、父ドレフォン)がテーオーマルコーニに3馬身差を付け、単勝1.2倍の支持に応えました。2番人気のロードクロヌスが3着、3番人気のカゼノランナーが4着と、JRA勢が上位を独占しています。

●マリーンC(船橋)は重賞初挑戦のロンギングフォーユーが逃げ切る

マリーンC(JpnIII、3歳牝馬、10月1日、船橋、1,800万円)は、先手を取った2番人気のロンギングフォーユー(荻野極騎手、父ナダル)が、タマモフリージアを4馬身引き離して圧勝。1番人気に推されたペンダントは3着、3番人気のジュワネングは7着でした。

●フィンガー初の三冠達成なるか、10月7日のジャパンダートC

ジャパンダートクラシック(JpnI、3歳、10月7日、大井、2,000万円)は、フィンガーが初のダート三冠達成を目指しますが、不安材料もあるため、同じ海外遠征帰りのワンダーディーンや、別路線組のイチテラッシャイ、チェリヴェントにも逆転の目があり、パイロマンサー、シルバーレシオ、ロックターミガンも大差はありません。

●10月6日のレディズプレリュードにダブルハートボンドが登場

レディズプレリュード(JpnII、10月6日、大井、1,800万円)は、2月以来の出走もGI馬ダブルハートボンドが最有力、メモリアカフェ、テンカジョウが続き、レイナデアルシーラ、アピーリングルックまでが争奪圏内と考えられます。

●3歳馬サトノボヤージュらが参戦、10月8日の東京盃(大井)

東京盃(JpnII、10月8日、大井、1,200万円)は、兵庫チャンピオンシップの覇者サトノボヤージュが中心、以下サンライズアムール、トウカイマシェリ、ヤマニンチェルキ、ガビーズシスター(大井)、エコロレーヴ、ティントレット(大井)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1チェヴァリーパークS～サンゴッデスがG1・3勝目

現地9月26日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1チェヴァリーパークS(2歳牝、芝1,200万円)はR.ムーア騎手が騎乗したサンゴッデス(牝2歳、父スーネーション、愛A.オブライエン厩舎)が差し切り勝ちを取めました。サンゴッデスは今年5月のデビュー2戦目(芝1,200万円)で初勝利。続くG3アルパニーSはリベルタンゴの2着でしたが、その後、G2エアリースタッドS(芝1,200万円)、G1愛フェニックスS(芝1,200万円)、ハリズハーフミリオン(芝1,200万円)、そして6馬身半差の圧勝だった前走9月13日のG1モイグレスタッドS(芝1,400万円)と4連勝してここに臨んでいました。なお、勝ちタイムの1分9秒08はコースレコードです。

●G1グッドウッドS～フォージドスティールがG1初制覇

9月26日にアメリカ・カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたG1グッドウッドS(3歳以上、ダート1,800万円)はE.ゴンザレス騎手を背にしたフォージドスティール(牡4歳、父ヴェコマ、S.ジョセフJr.厩舎)が3コーナー手前で先頭に立つと、そのまま押し切って優勝しました。フォージドスティールは今年5月のG2ハリウッドゴールドC(ダート2,000万円)を逃げて9馬身半差で圧勝し、デビュー18戦目にして重賞初制覇。しかしその後はG2サバーバンS5着、G1パシフィッククラシックSも7着と敗れていました。